

三輪 健二 / MIWA, Kenji

人間科学系 / 文教育学部人間社会学科

<http://researchers.ao.ocha.ac.jp/3098173914.html>



#### ■研究者情報

連絡先

Email: miwa.kenji@ocha.ac.jp / TEL: 03-5978-5253 / FAX: 03-5978-5253

専門分野

生涯学習論、成人教育論

#### ■研究成果情報

## ラウンドテーブルによる現職者研修

### キーワード

生涯学習、成人学習、教師教育、社会教育主事課程、社会教育主事講習、省察的実践、ラウンドテーブル

### 研究内容

#### ■概要（背景・目的・内容）

1999年にお茶の水女子大学に赴任してから、社会教育主事課程を担当し、社会教育主事の資格取得を目指す学生たちの教育にあたってきた。社会教育主事課程の資格が学生にとって有意義なものになるよう努力してきている。

上記の学部での養成に加え、社会教育や生涯学習分野のプログラム開発に関わり、「成人学習（おとなの学び）」や「省察的実践」をキーワードとする現職者の学習や研修を考えている。例えば地域における社会教育の振興と社会教育を支える職員・市民の研修プログラム開発に従事し、2011年度からは全国初の、年間プログラムによる「お茶の水女子大学社会教育主事講習」を文部科学省の委嘱事業として担当している。また附属学校教員をはじめとする教職員等の現職研修を学校教育研究部主任研究員として担当し、自らの保育・教育実践を省察し、語り合う「お茶の水女子大学ラウンドテーブル」を2009年より実施している。

#### ■プロセス・研究事例

①社会教育主事課程プログラム開発：全国社会教育職員養成研究連絡協議会（社養協）代表として、全国の大学の社会教育主事課程の調査研究と問題提起を行い、本学でも社会居行く実習の必修化などの改革に取り組んでいる。

②お茶の水女子大学社会教育主事講習：文部省の委嘱事業として2011年度より、年間プログラムの社会教育主事講習を開講し、現職者が実践と省察のサイクルを通して学ぶプログラムを開発し、天元している。

③お茶の水女子大学実践研究ラウンドテーブル：附属教員をはじめ教職員等の現職研修プログラムとして、自らの実践を他者に物語り、省察しあう実践研究ラウンドテーブルを実施している。

④附属中学校の3年生の自主研究発表にもラウンドテーブルを取り入れ、11月11日の附属中学校公開研究会で、「自主研究ラウンドテーブル」を実施した。

#### ■潜在可能性（応用・将来展望）

①から④まですべてにおいて、文部科学省と連携をとりながら、全国に発信しうる社会人向けプログラムとなっている。

### お茶大ラウンドテーブル (現職研修)

教師が異領域の方々  
(看護師、日本語ボランティア、  
福祉関係者など)に保育・授業を物語る



### 特許・著作物等の知財情報、製品化情報、あるいは社会貢献実績

- ・平成23年度お茶の水女子大学社会教育主事講習(文部科学省委嘱事業) 平成23年5月～平成24年2月
- ・文部科学省教育映画の審査に関する専門委員
- ・神奈川県小田原市キャンパスおだわら学長
- ・東京都江戸川区江戸川総合人生大学子ども・子育て応援学科長
- ・日本社会教育学会理事(2008-2011)・副会長(2008-2009)
- ・全国社会教育職員養成研究連絡協議会代表(2008-)

### 産学官・社会連携の可能性

#### ■共同研究／技術提供／知見の教授・共有（公開講座、ワークショップ等の実施／出版／その他）

平成23年度お茶の水女子大学社会教育主事講習は、文部科学省生涯学習政策局、東京都教育庁、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、茨城県教育委員会、東京都中野区、杉並区、江戸川区教育委員会との連携事業として実施している(担当者が運営委員)。